

福祉タク普及後押し

新型シエンタ発表

トヨタ

トヨタ自動車（豊田章男社長）は9日、新型シエンタを発表した。1人当たり

27・2キロ（JC08モード）

とミニバントップレベルの低燃費を実現したハイブリッド車を新たに設定。低床フラットフロアで、広々とした室内空間と優れた乗降性を可能にした。衝突回避支援パッケージをオプションで付けられる。価格は税込み168万円〜232万円。

福祉タクシーとして使用される「ウェルキャブ」で

は、ミニバンとしては初めてストレッチャーが乗車できる仕様を加えた。トヨタ製品企画本部の中川茂ZU主査は「福祉タクシー普及に少しでも後押しできれば」と期待した。

車椅子に乗ったまま乗車できるウェルキャブ。新型はリクライニング機構付車椅子にも対応した。エアサスペンションで後部の車高を下げ、スロープ角度は9・5度となだらかな斜面を実現。ライン生産により、従来より15万円ほど安くなった。